

樹ら楽ステージ LIXIL サニーブリーズフェンス（デッキ仕様） 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜施工の前に＞



- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- フェンスは隣地境界線を目的に設置するものです。防護柵や手すり等としては使用しないでください。
- 設置場所を確認してください。
・本製品は一般住宅の一階相当部施工用です。それ以外の場所への取付けはおやめください。



- 施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
- 開き戸を取付けることはできません。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工プランと必要部材が揃っているか確認してください。
- 給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

＜施工上のご注意＞

⚠ 注意

- 製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
 - ・ $\phi 4$ ネジ：1.5N·m
 - ・ $\phi 5$ ネジ：3.0N·m

🔑 ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。

INDEX

1	梱包明細表	3
2	基本寸法と各部名称	5
1.	各部名称	5
2.	基本寸法図	6
3.	納まり図	7
3	柱の事前準備	9
1.	主柱・端柱の場合	9
2.	コーナー柱の場合	10
4	主柱・端柱の取付け	10
1.	正面床板固定の場合	10
2.	正面大引固定の場合	12
3.	側面床板固定の場合	14
4.	側面床板補強材固定の場合	16
5	コーナー柱の取付け	17
6	フェンス本体の取付け	19
1.	フェンス本体の切詰め	19
2.	フェンス本体の取付け	21
3.	ベースプレートカバーの取付け	23
7	施工後の仕上げ	24
1.	注意シールの貼付け	24

1 梱包明細表

【1】フェンス本体

名 称	略 図	員 数
フェンス本体		1

【3】端柱（ベース仕様）

名 称	略 図	員 数
端柱		1

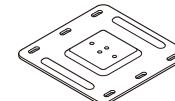
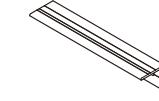
【2】主柱（ベース仕様）

名 称	略 図	員 数
主柱		1

【4】コーナー（ベース仕様）

名 称	略 図	員 数
コーナー柱		1
コーナー枠		1

【5】ベースプレートセット

名 称	略 図	員 数			
		大引 固定用	床板補強材 固定用	床板 固定用	コーナー柱 固定用
ベースプレート		1	1	1	—
ベースプレート(コーナー柱用)		—	—	—	1
ベースプレート-大引固定アングル		2	—	—	—
フェンス固定材		—	—	2	2
【5-1】φ4×13ナベドリルネジ		4	—	—	—
【5-2】φ5×70ナベドリルネジ		6	6	5	—
【5-3】M5×60トラス小ネジ		—	—	2	—
【5-4】φ4×30サラタッピンネジ2種 G=5		—	—	—	4
【5-5】φ4×40ナベタッピンネジ2種 G=5		4	4	4	—
【5-6】φ5×65サラドリルネジ		—	—	—	5
【5-7】M5×60サラ小ネジ		—	—	—	2

【6】柱控え部材セット

名 称	略 図	員 数
柱控え部材		1
【6-1】φ5×30ナベドリルネジ		2
【6-2】φ5×70ナベドリルネジ		3

【7】コーナー柱部品セット

名 称	略 図	員 数
コーナー柱キャップ		4
多段クッション材		1
【7-1】 $\phi 4 \times 12$ サラタッピンネジ2種 D=8		8
【7-2】 $\phi 4 \times 12$ トラスタッピンネジ2種 D=8		14

【11】床板補強材セット

名 称	略 図	員数
床板補強材		1
大引アングル		4
【11-1】 $\phi 4 \times 13$ ナベドリルネジ		20

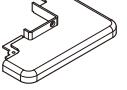
【8】主柱部品セット

名 称	略 図	員 数
主柱キャップ		1
多段クッション材		1
【8-1】 $\phi 4 \times 10$ トラスタッピンネジ1種 D=8		1
【8-2】 $\phi 4 \times 12$ トラスタッピンネジ2種 D=8		8

【9】端柱部品セット

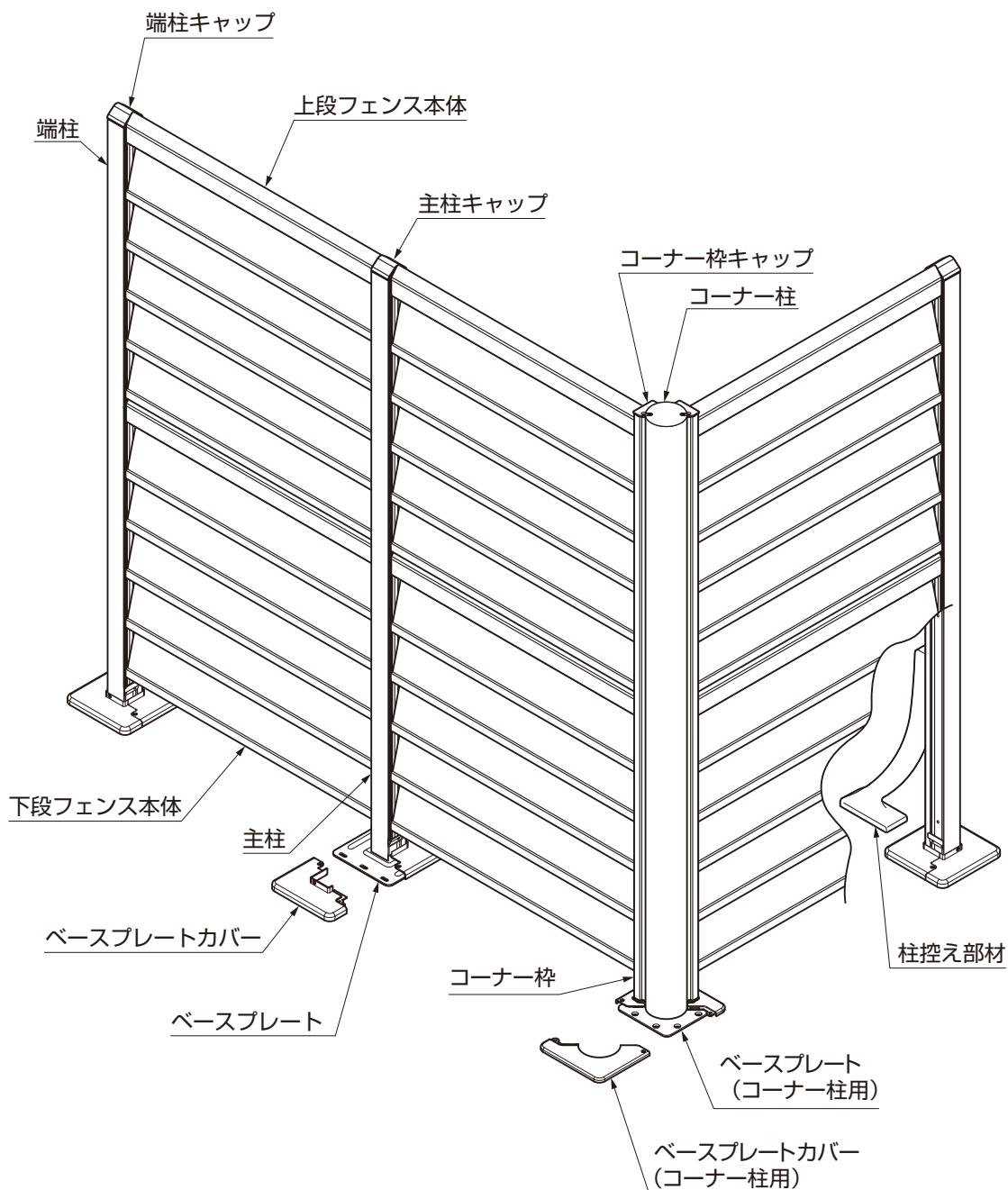
名 称	略 図	員 数
端柱キャップ		2
多段クッション材		1
フェンス用注意シール		1
【9-1】 $\phi 4 \times 10$ トラスタッピンネジ1種 D=8		2
【9-2】 $\phi 4 \times 12$ トラスタッピンネジ2種 D=8		8
取付説明書〈E353〉	—	1
取扱説明書〈UE089〉	—	1

【10】ベースプレートカバーセット

名 称	略 図	員 数		
		主柱	端柱	コーナー柱
ベースプレートカバー		2	2	—
ベースプレートカバー (コーナー柱用)		—	—	2
【10-1】 $\phi 4 \times 8$ サラタッピンネジ3種 D=6		4	4	—
【10-2】 $\phi 4 \times 20$ サラタッピンネジ1種 D=6		—	—	2

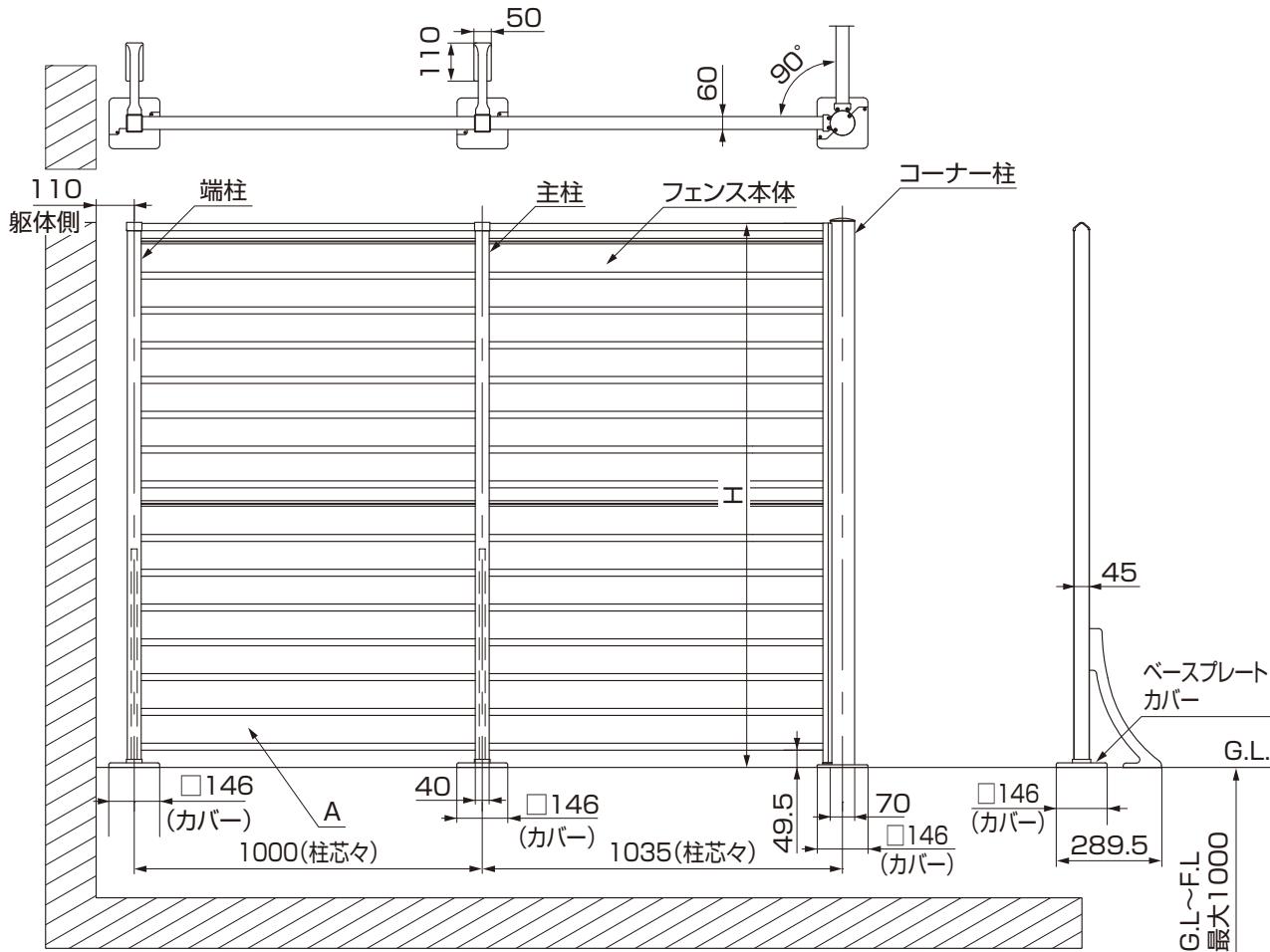
2 基本寸法と各部名称

1. 各部名称



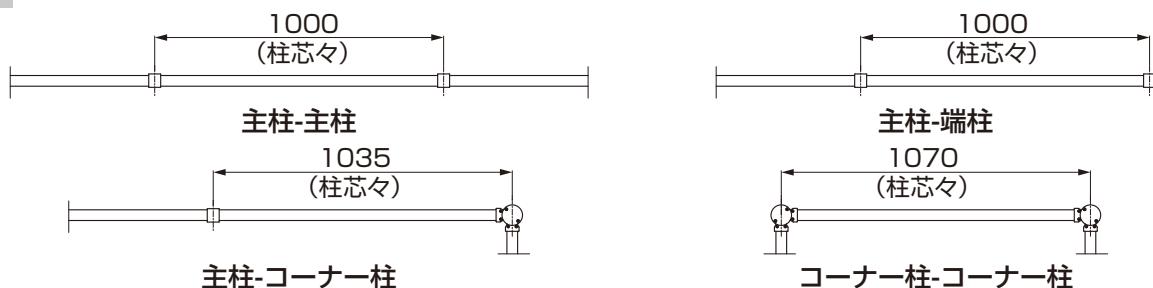
2. 基本寸法図

2-1 T-16・T-18 (主柱と端柱には、柱控え部材を必ず取付けてください。)

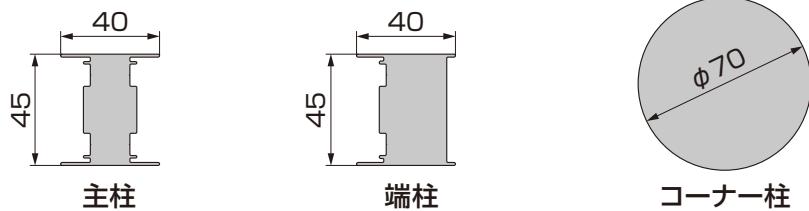


サイズ	H	A
T-16	1563.5	フェンス本体T-8
T-18	1763.5	フェンス本体T-10

2-2 柱取付ピッチ



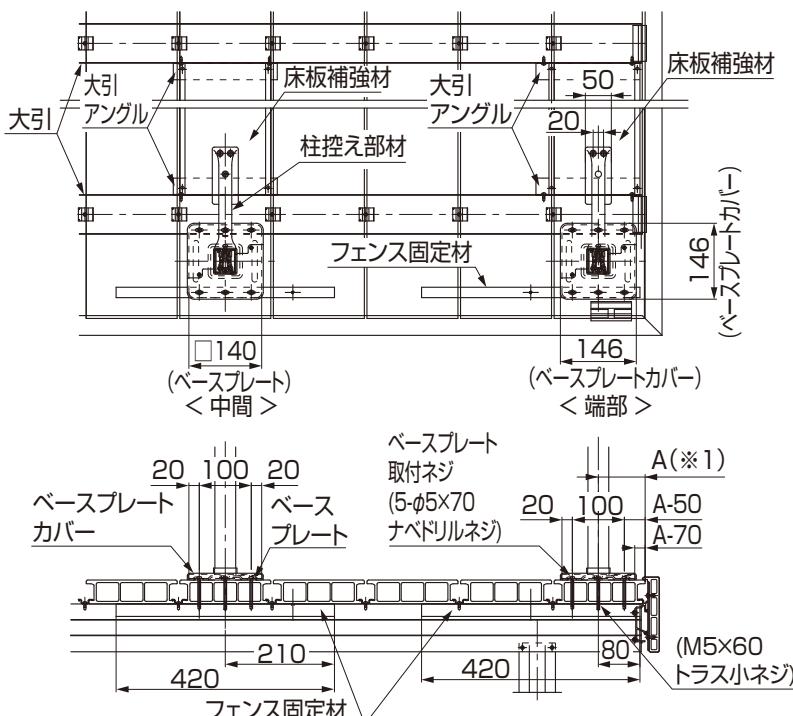
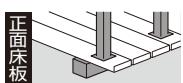
2-3 柱形状



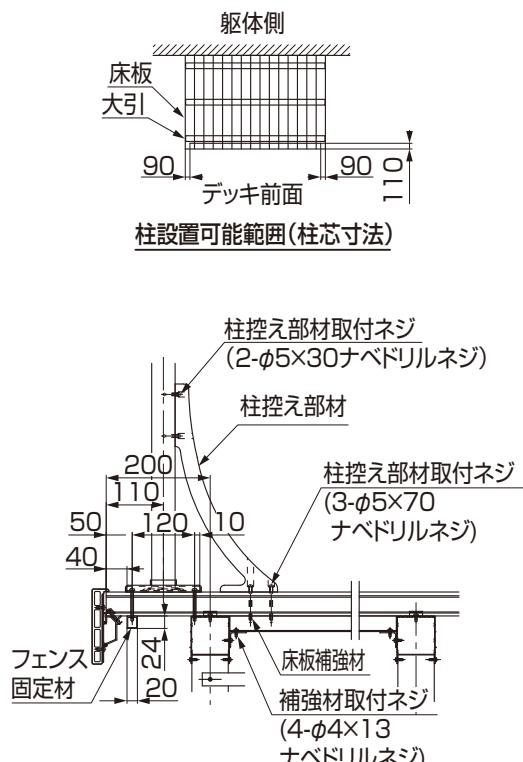
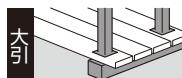
3. 納まり図

※図は樹ら楽ステージを示します。木彫も同様の納まりとなります。

3-1 正面床板固定の場合

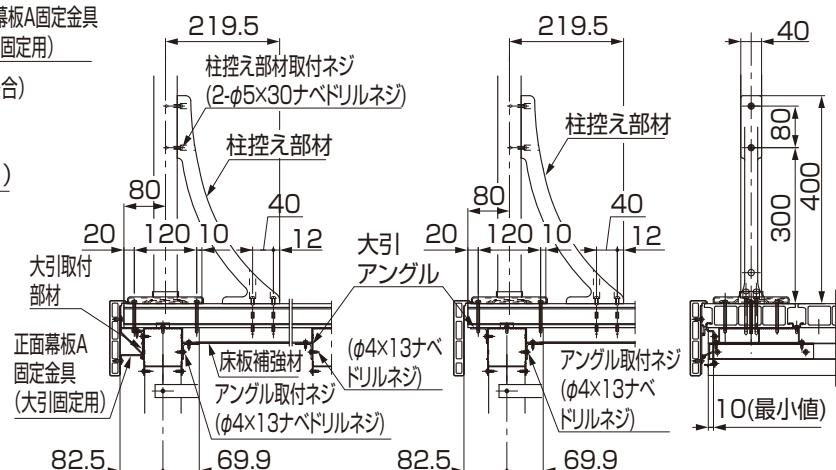
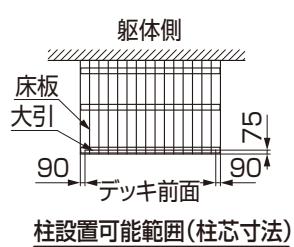
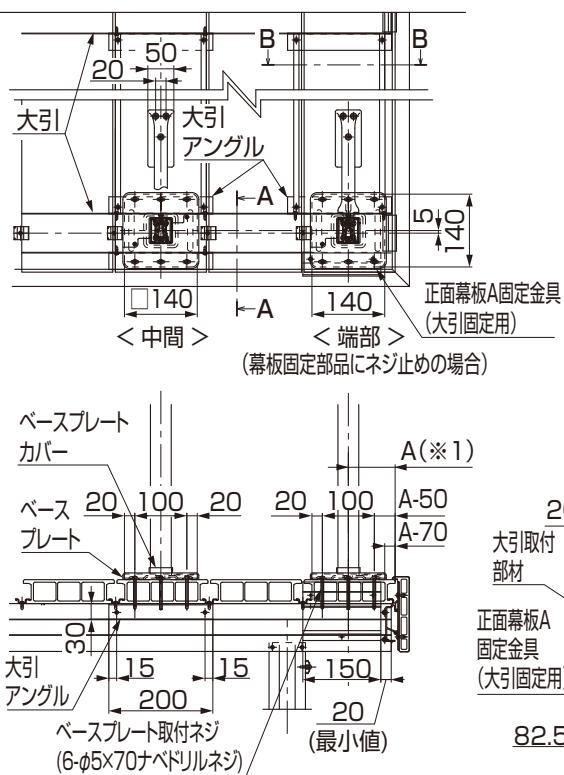


3-2 正面大引固定の場合



2

基本寸法と各部名称



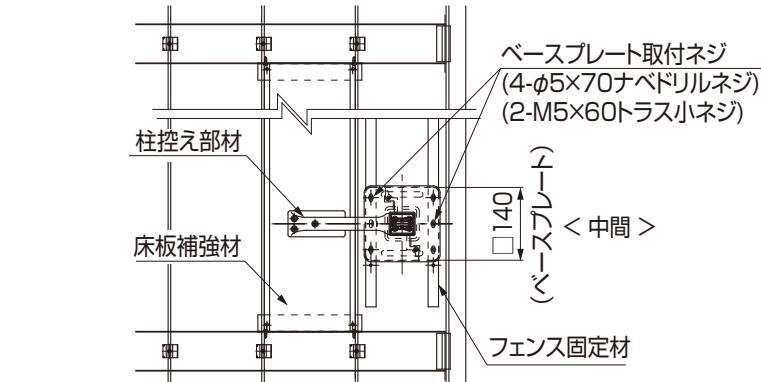
A-A矢視図

B-B矢視図



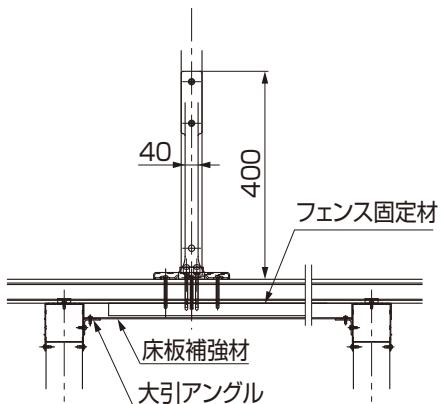
- A寸法値の最小値は90mmです。
 - A寸法値の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。

3-3 側面床板固定の場合

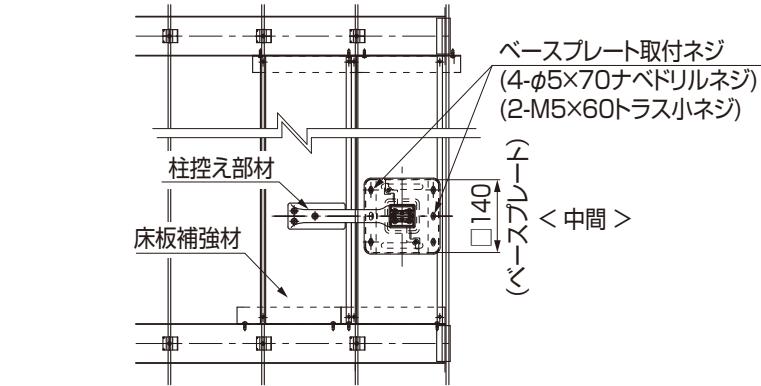
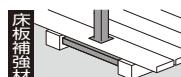


ポイント

- A寸法値の最小値は90mmです。
- A寸法値の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。

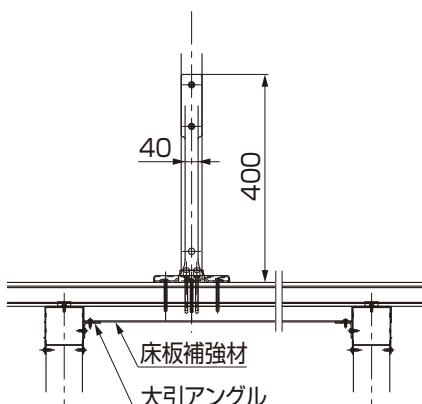


3-4 側面床板補強材固定の場合



ポイント

- A寸法値の最小値は90mmです。
- A寸法値の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。



3 柱の事前準備

1. 主柱・端柱の場合

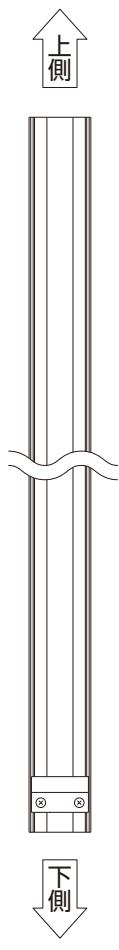


図1-1

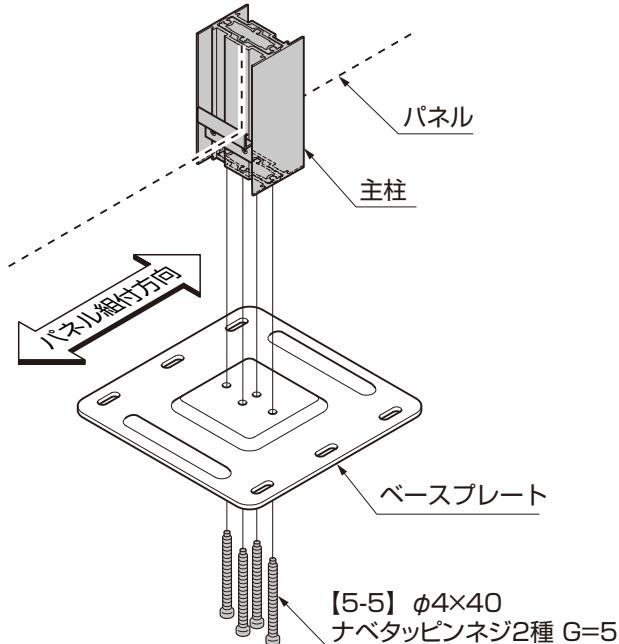


図1-2 主柱

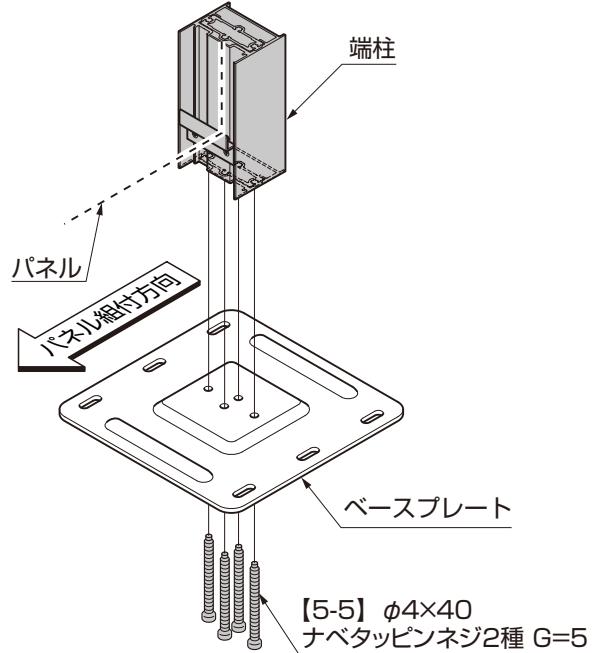


図1-3 端柱

補足

●柱には上下の区別があります。 (図1-1参照)

①柱をベースプレートに [5-5] で取付けてください。

2. コーナー柱の場合

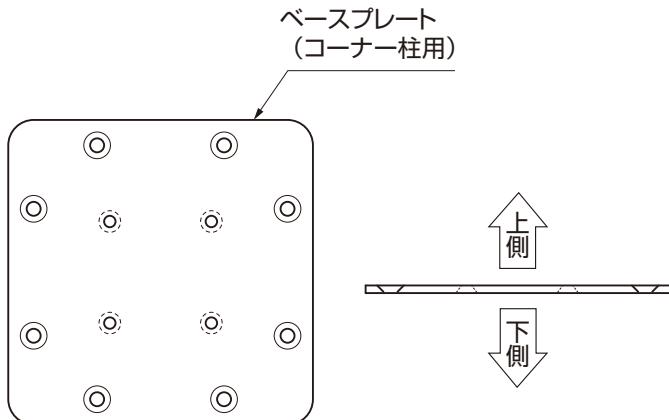


図2-1

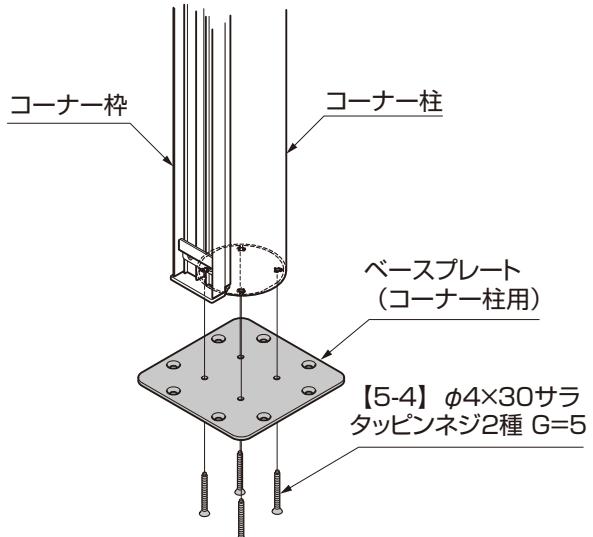


図2-2

ポイント

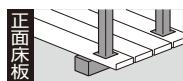
●ベースプレート（コーナー柱用）の外側のサラ穴が、上向きになるように取付けてください。（図2-1参照）

①コーナー柱（ベース仕様）をベースプレート（コーナー柱用）に【5-4】で固定してください。（図2-2参照）

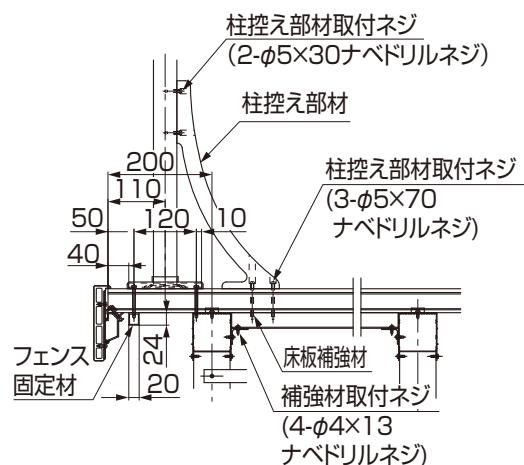
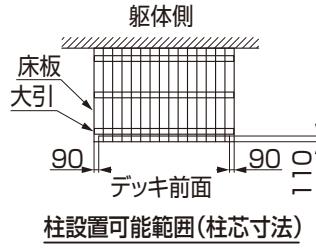
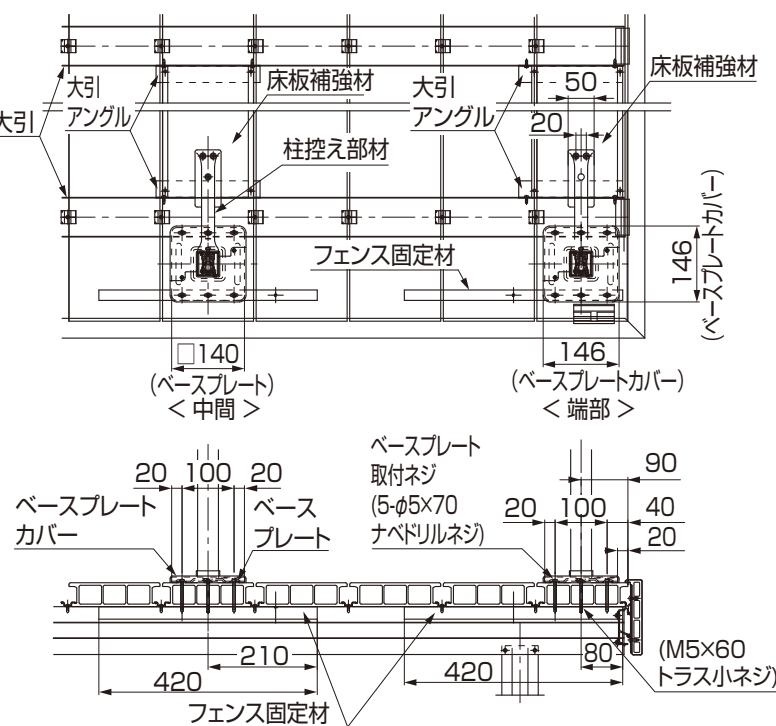
4 主柱・端柱の取付け

※図は樹ら楽ステージを示します。木彫も同様の納まりとなります。

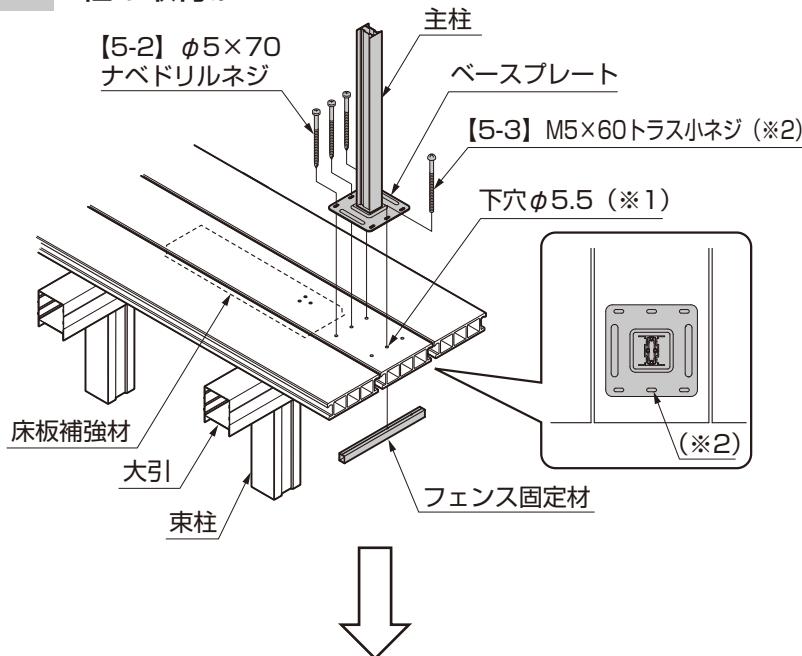
1. 正面床板固定の場合



1-1 柱設置位置の確認と位置決め



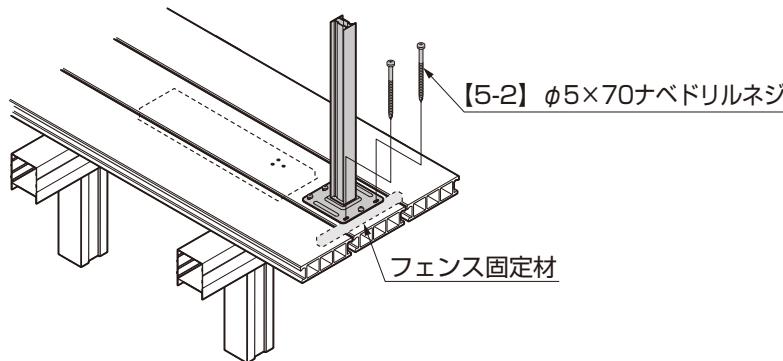
1-2 柱の取付け



ポイント

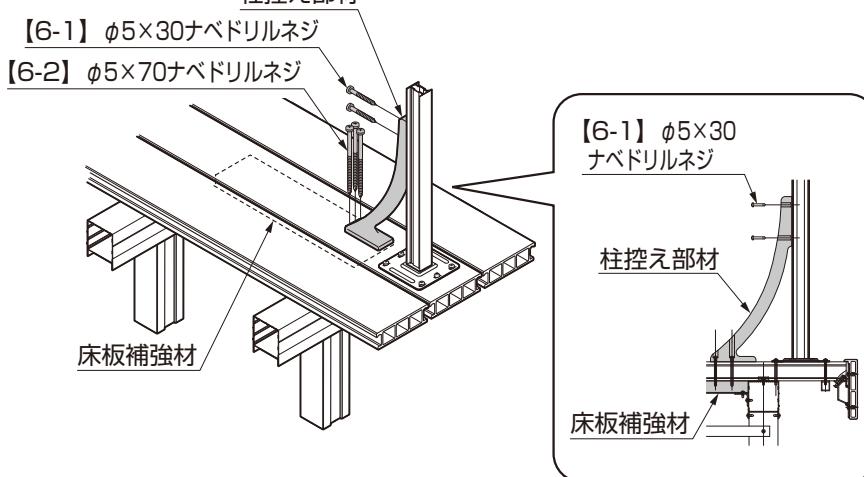
- デッキ施工前に床板補強材を取付けてください。

- ①ネジ位置をマーキングし、床板にØ5.5の下穴 (※1) をあけてください。
- ②ベースプレートを大引に【5-2】で取付けてください。
- ③ベースプレートをフェンス固定材の中心の穴に【5-3】で取付けてください。
(※2)



- ④ベースプレートをフェンス固定材に【5-2】で取付けてください。

柱控え部材



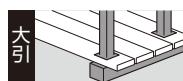
- ⑤柱控え部材を床板補強材に【6-2】で固定してください。

- ⑥柱控え部材を柱に【6-1】で固定してください。

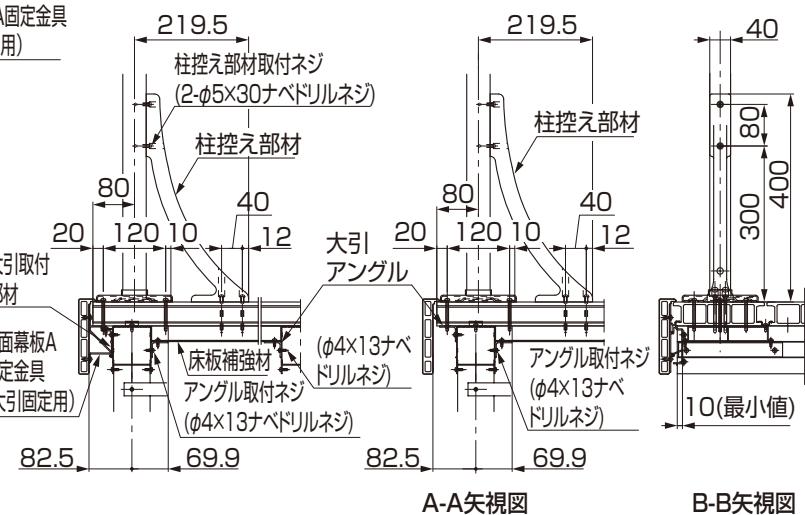
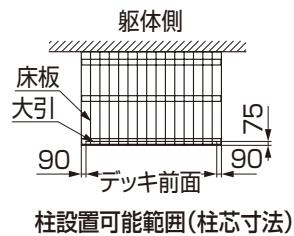
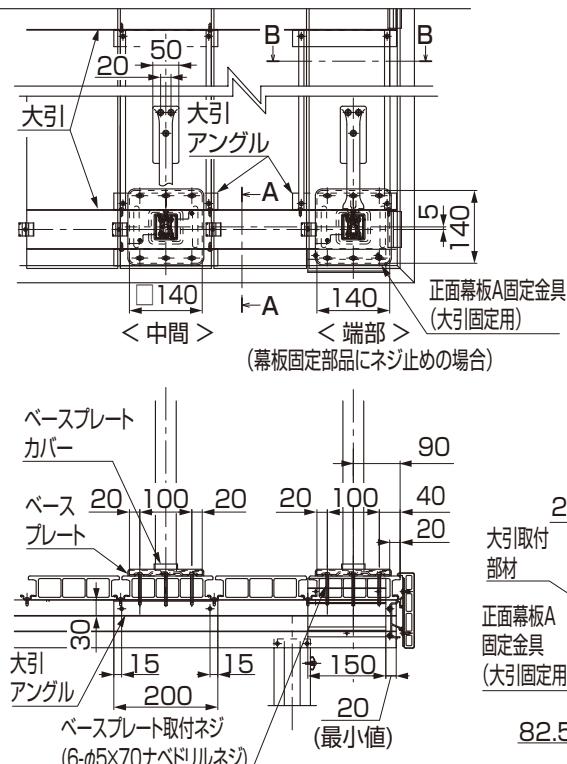
ポイント

- 柱控え部材は必ず、床板補強材のある位置に固定してください。

2.正面大引固定の場合

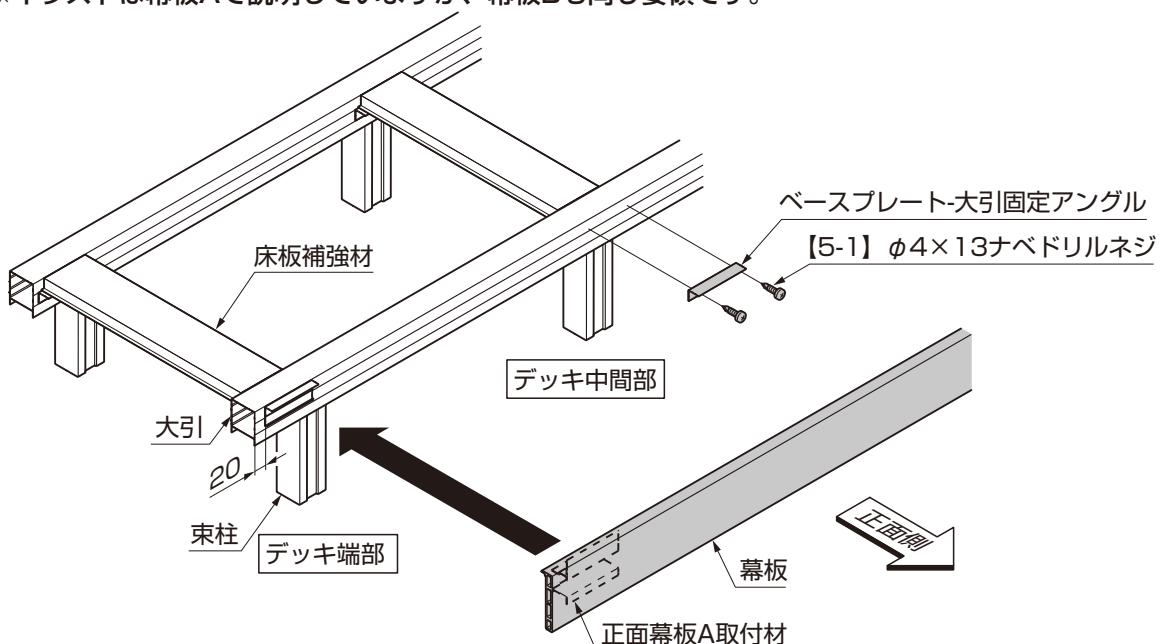


2-1 柱設置位置の確認と位置決め



2-2 ベースプレート-大引固定アングルの取付け

※イラストは幕板Aで説明していますが、幕板Bも同じ要領です。

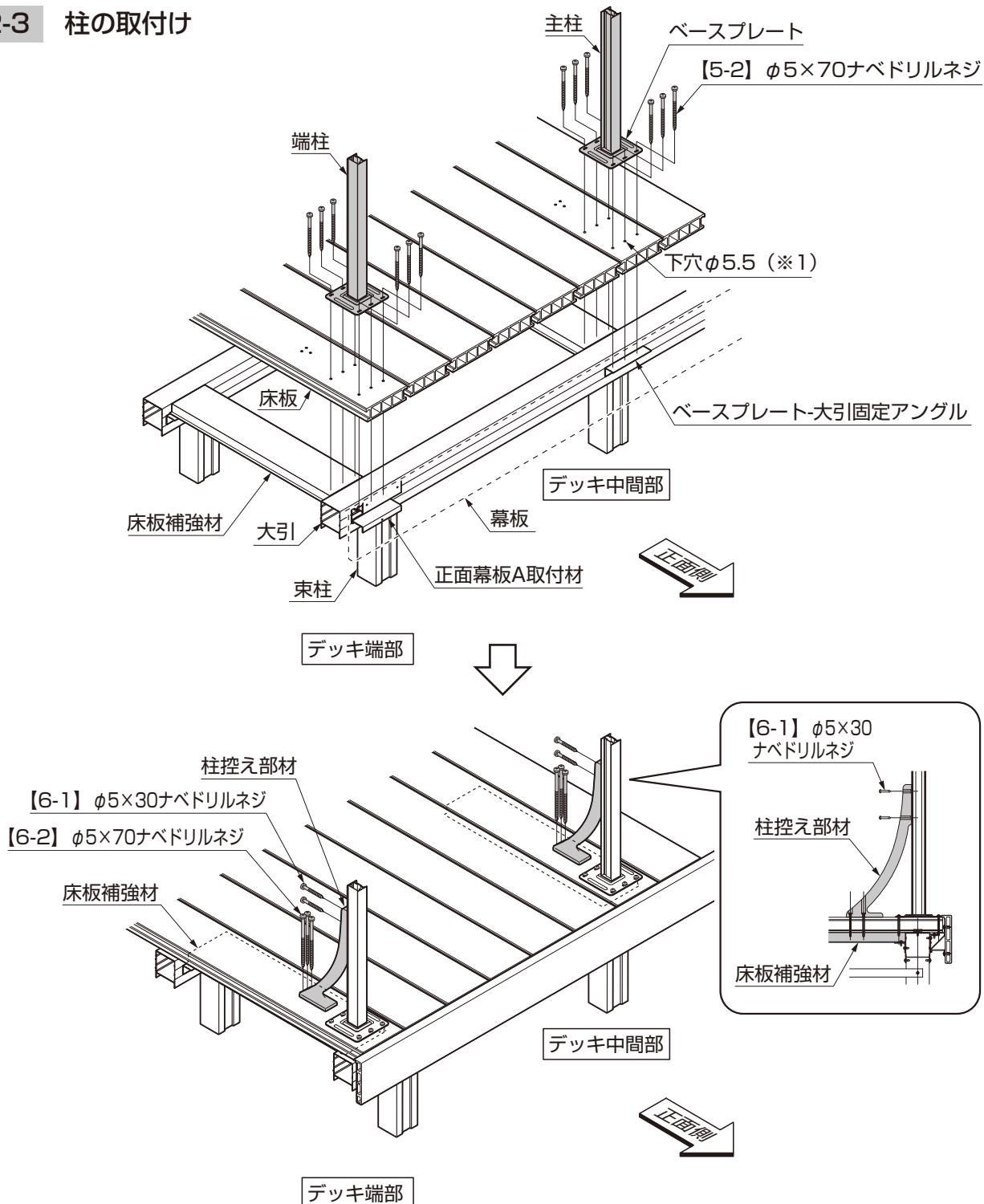


①ベースプレート-大引固定アングルを、大引に【5-1】で取付けてください。



- デッキ施工前に床板補強材を取付けてください。
 - 正面幕板の取付詳細は「樹ら楽ステージ 取付説明書 (E343)」または「樹ら楽ステージ 木彫 取付説明書 (E423)」を参照してください。

2-3 柱の取付け

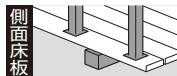


- ①ネジ位置をマーキングし、床板に $\phi 5.5$ の下穴 (※1) をあけてください。
- ②ベースプレートを正面幕板A取付材、ベースプレート-大引固定アングル、床板補強材に【5-2】で固定してください。
- ③柱控え部材を床板補強材に【6-2】で固定してください。
- ④柱控え部材を柱に【6-1】で固定してください。

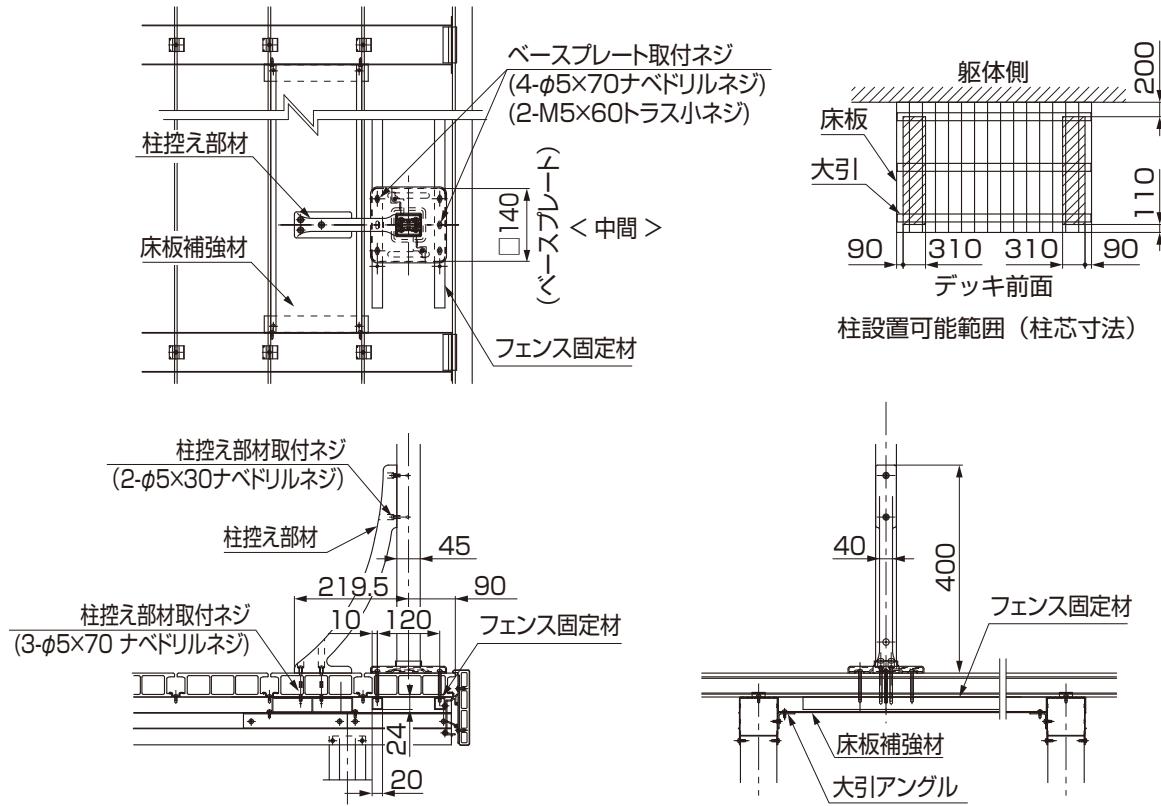
ポイント

- 柱控え部材は必ず、床板補強材のある位置に固定してください。

3. 側面床板固定の場合



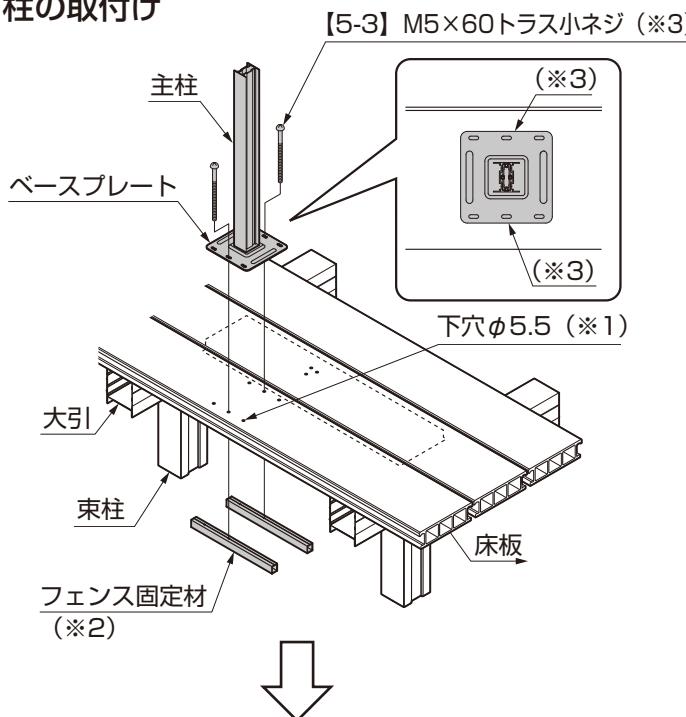
3-1 柱設置位置の確認と位置決め



4 主柱・端柱の取付け

メモ

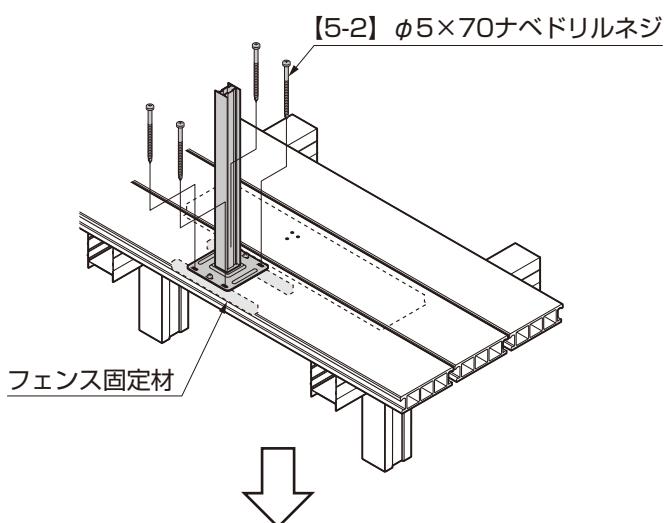
3-2 柱の取付け



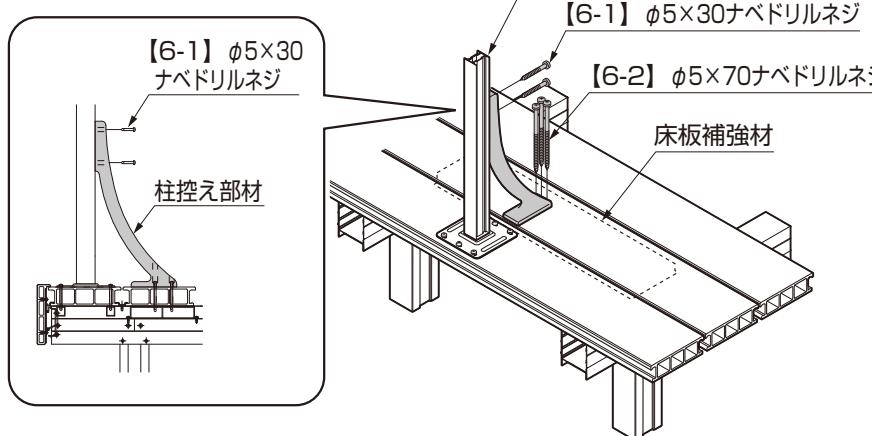
ポイント

- デッキ施工前に床板補強材を取付けてください。

- ①ネジ位置をマーキングし、床板にØ5.5の下穴 (※1) をあけてください。
- ②フェンス固定材が大引に干渉する場合は切断してください。 (※2)
- ③ベースプレートをフェンス固定材の中心の穴に【5-3】で取付けてください。 (※3)



- ④ベースプレートをフェンス固定材に【5-2】で取付けてください。

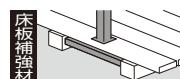


- ⑤柱控え部材を床板補強材に【6-2】で取付けてください。
- ⑥柱控え部材を柱に【6-1】で固定してください。

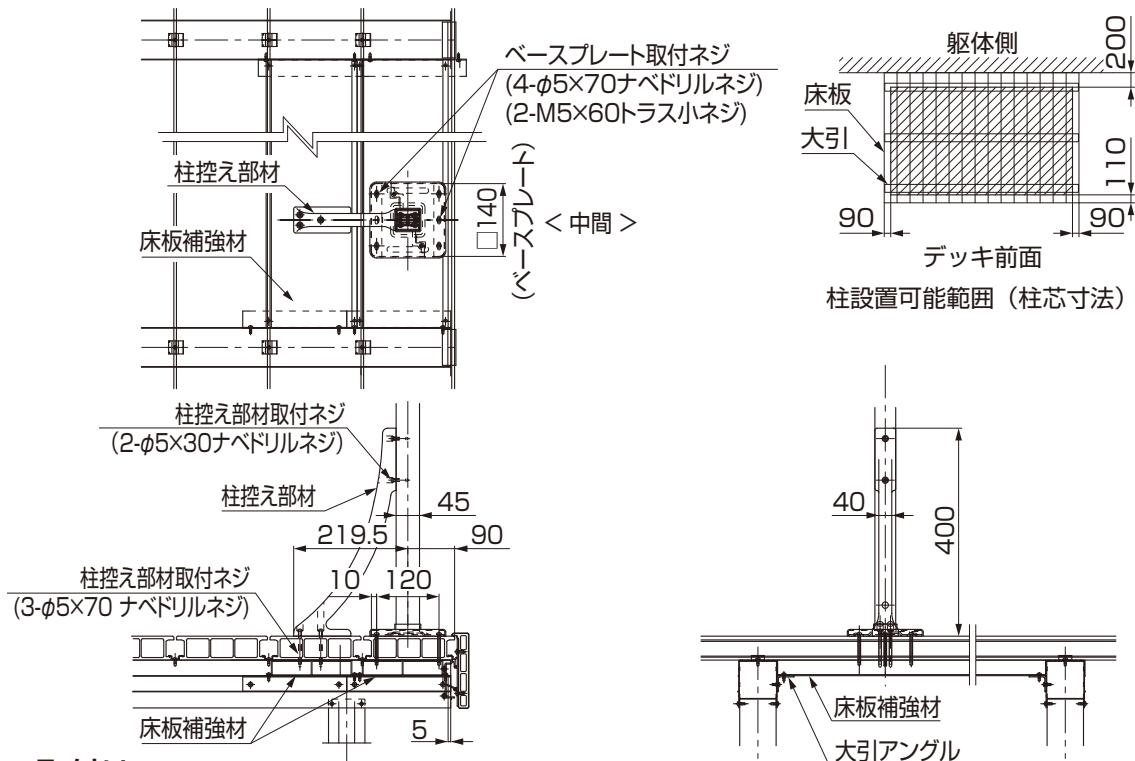
ポイント

- 柱控え部材は必ず、床板補強材のある位置に固定してください。

4. 側面床板補強材固定の場合

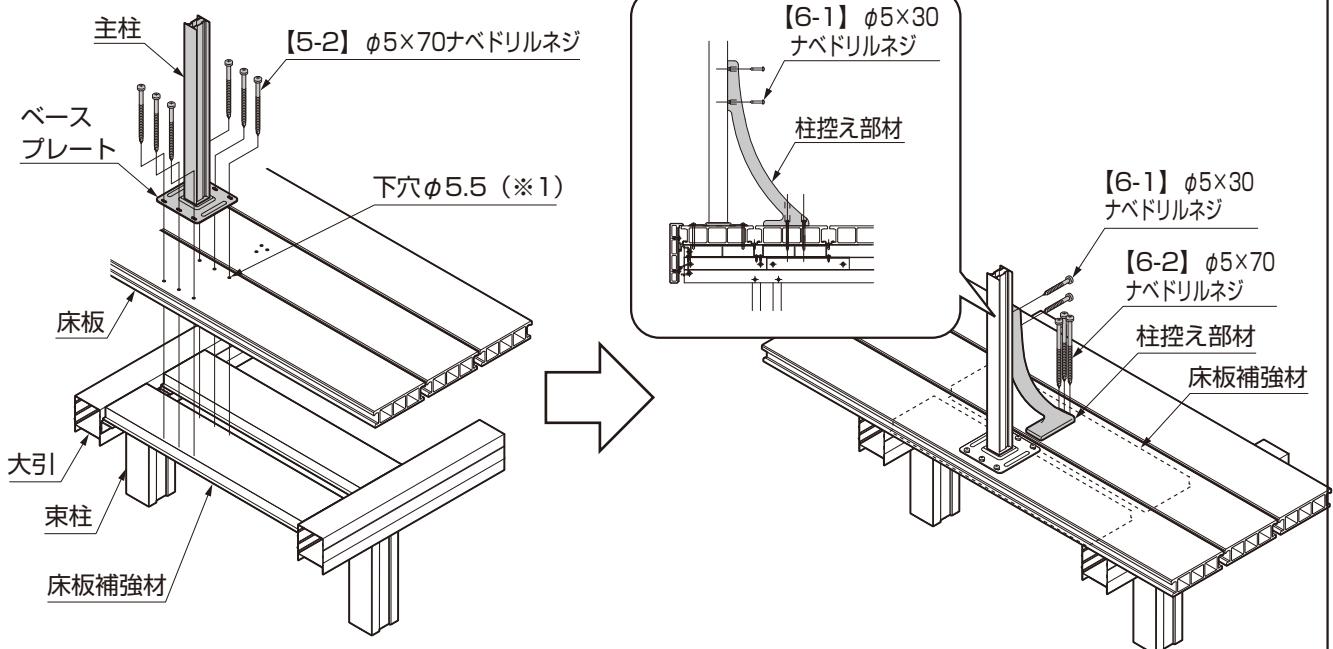


4-1 柱設置位置の確認と位置決め



4
主柱・端柱の
取付け

4-2 柱の取付け



- ①ネジ位置をマーキングし、床板に $\phi 5.5$ の下穴（※1）をあけてください。
- ②ベースプレートを床板補強材に【5-2】で取付けてください。
- ③柱控え部材を床板補強材に【6-2】で取付けてください。
- ④柱控え部材を柱に【6-1】で固定してください。



- デッキ施工前に床板補強材を取付けてください。
- 柱控え部材は必ず、床板補強材のある位置に固定してください。

5. コーナー柱の取付け

※図は樹ら楽ステージを示します。木彫も同様の施工となります。

1-1 柱設置位置の確認と位置決め

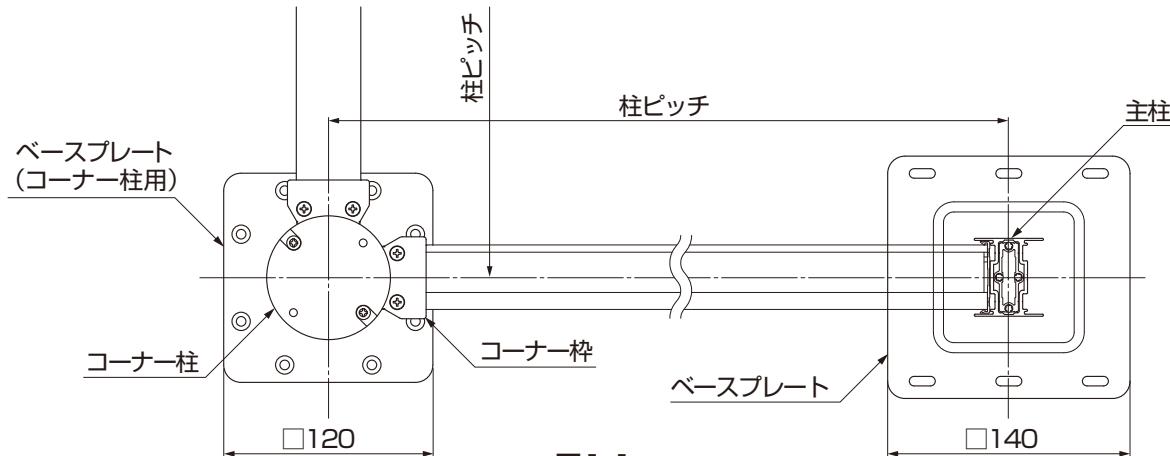


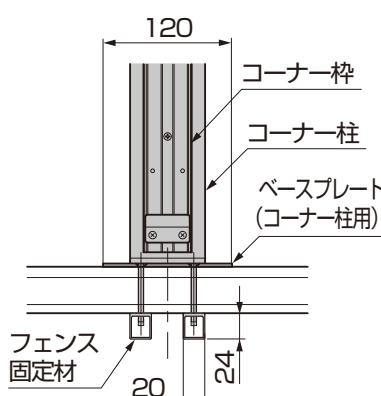
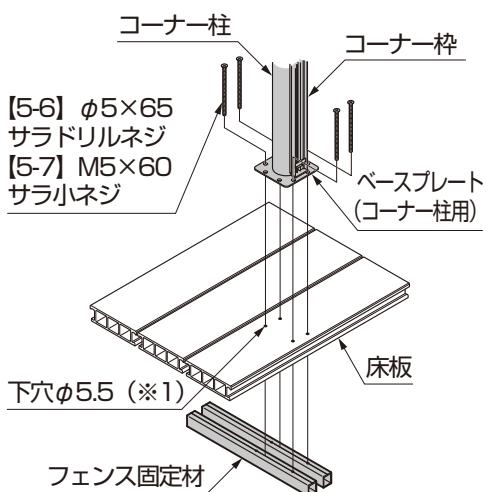
図1-1

①主柱のベースプレートと、コーナー柱のベースプレート（コーナー柱用）が芯一芯でならぶように配置し、柱の固定位置を決めてください。（図1-1参照）

補足

●コーナー柱を使用する場合は、「[2.基本寸法と各部名称](#) [2.基本寸法図](#) [2-2 柱取付けピッチ](#)」を参照してください。

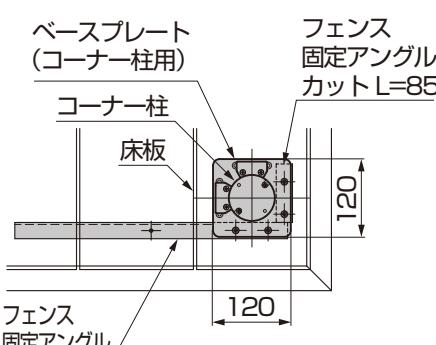
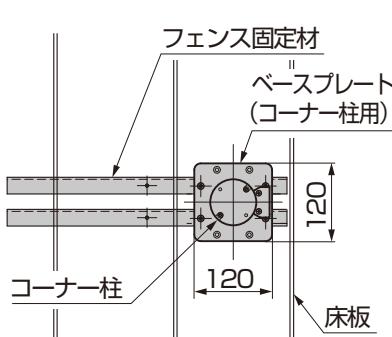
1-2 柱の取付け



- ネジ位置をマーキングしてください。
- マーキングした床板にφ5.5下穴をあけてください。（※1）
- ベースプレートをフェンス固定材に【5-6】、【5-7】で取付けてください。

ポイント

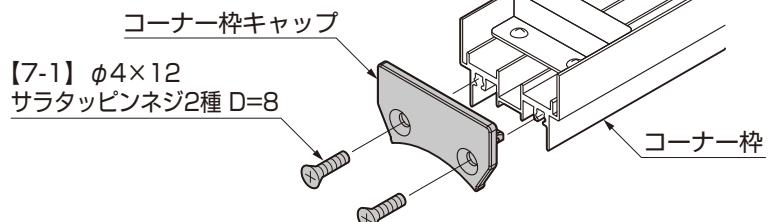
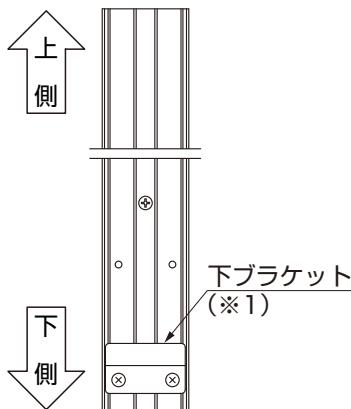
●ベースプレート（コーナー柱用）は【5-6】、【5-7】で合計4ヶ所以上固定してください。



補足

- 柱一柱間のピッチは、下桿を仮置きするなどの方法で、正しく計測してください。
- コーナー角の対応角は180°～60°です。
- フェンス固定材の位置は、納まりにより異なります。

1-3 コーナー柱キャップの取付け



- ①コーナー柱キャップをコーナー柱に【7-1】で取付けてください。

ポイント

- コーナー柱をコーナー柱に取付ける前に必ず、コーナー柱下部にコーナー柱キャップを取付けてください。コーナー柱を取付けた後ではコーナー柱キャップを取付けることができません。
- 下ブラケットの付いている側がコーナー柱下端です。 (※1)

1-4 コーナー柱の取付け

表1-1

対応角度	
出隅コーナー	入隅コーナー

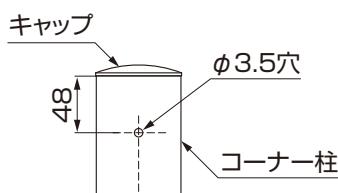


図1-2

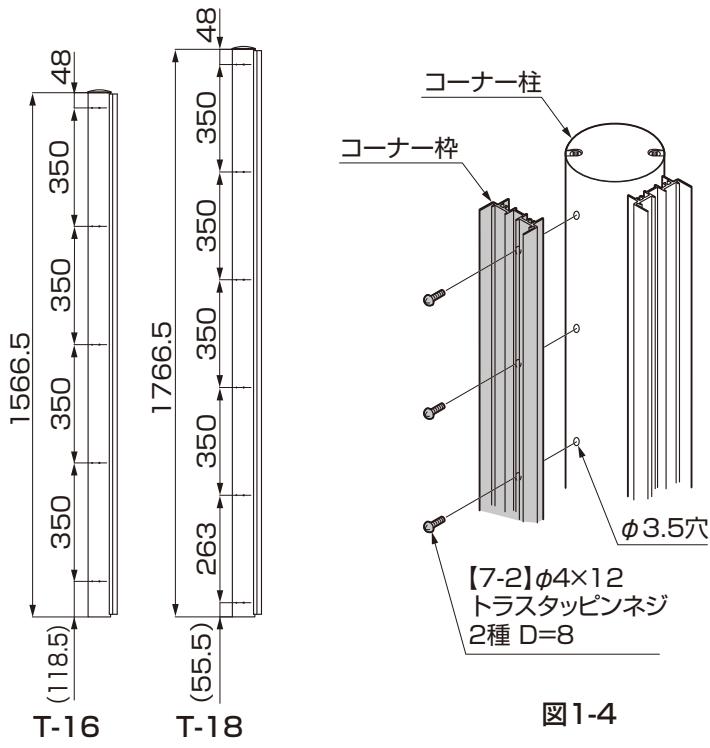


図1-3

図1-4

- ①コーナーの角度を決めてください。

ポイント

- コーナーの対応角度は60°～180°です。

- ②コーナー角度に合わせて、コーナー柱にφ3.5の穴をあけてください。 (図1-2、図1-3参照)

- ③コーナー柱をコーナー柱に【7-2】で取付けてください。 (図1-4参照)

6. フェンス本体の取付け

1. フェンス本体の切詰め

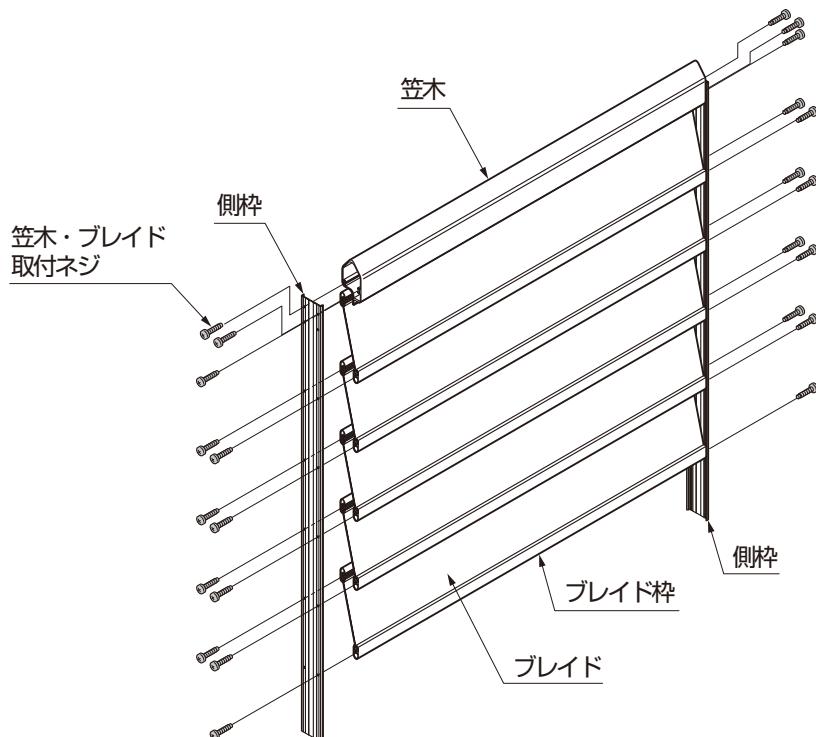


図1-1 S型・M型

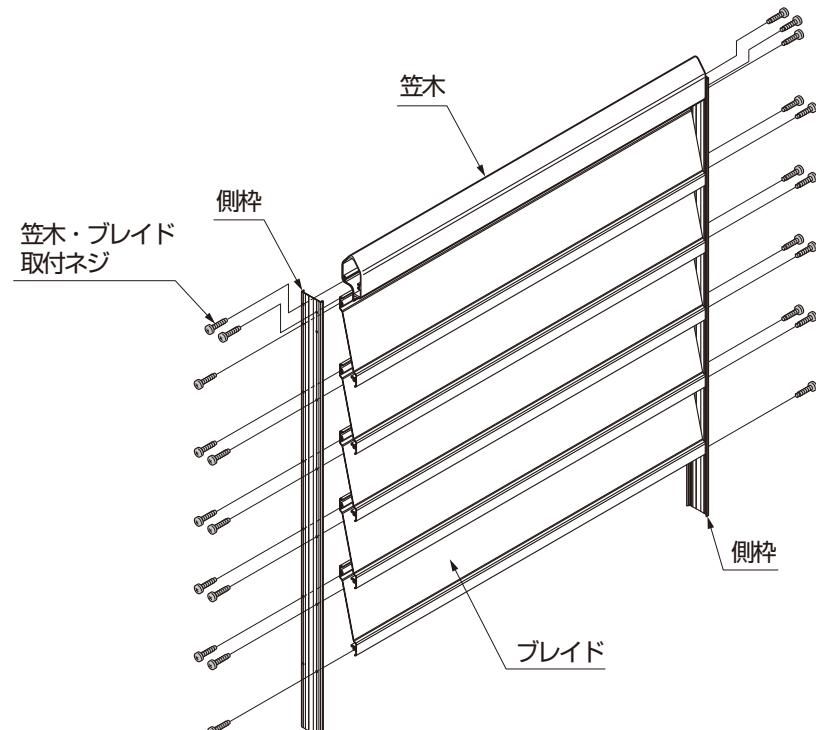


図1-2 A型

- ① 「笠木・ブレイド枠取付ネジ」を外し、各部材を取外してください。 (図1-1、図1-2参照)



- 外したネジは再利用するため、なくさないでください。

1. (つづき)

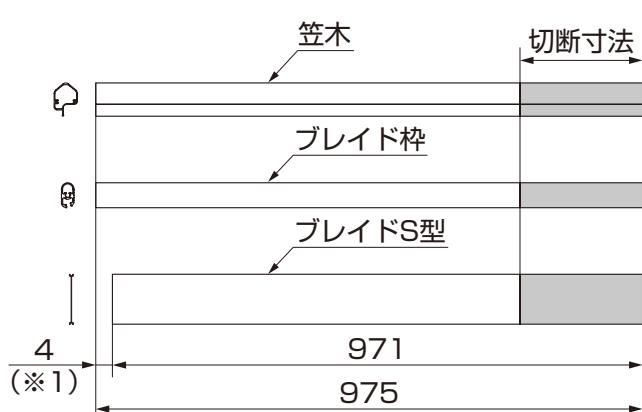


図1-3 S型の場合



図1-4 A型・M型の場合

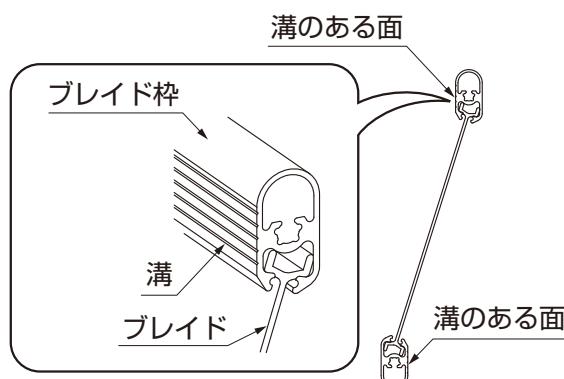


図1-5 ブレイドの挿入

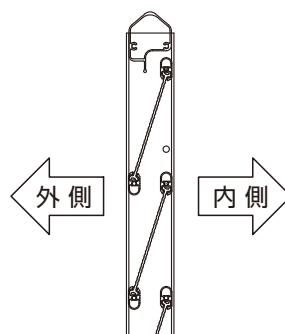


図1-6 S型・M型

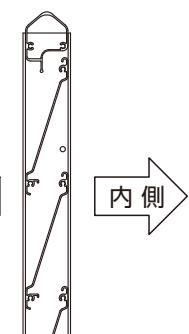


図1-7 A型

▲注意

- ケガ防止のため、切断面はヤスリ等でバリ取りを行ない、鋭利な角部は丸めてください。

②笠木・ブレイド枠・ブレイドを切断してください。（図1-3、図1-4参照）

◆ポイント

- 樹脂ブレイド（S型）は気温の変化で伸縮し易いため必ず笠木・ブレイド枠より4mm短くしてください。（※1）
- 樹脂ブレイド（S型）の切断に電動ノコギリを使用すると、割れるおそれがありますので注意してください。

③S型・M型の場合は、ブレイドをブレイド枠に挿入してください。（図1-5参照）

④ブレイドや笠木を「笠木・ブレイド枠取付ネジ」にて取付けてください。（図1-6、図1-7参照）

2. フェンス本体の取付け

2-1 主柱・端柱の場合

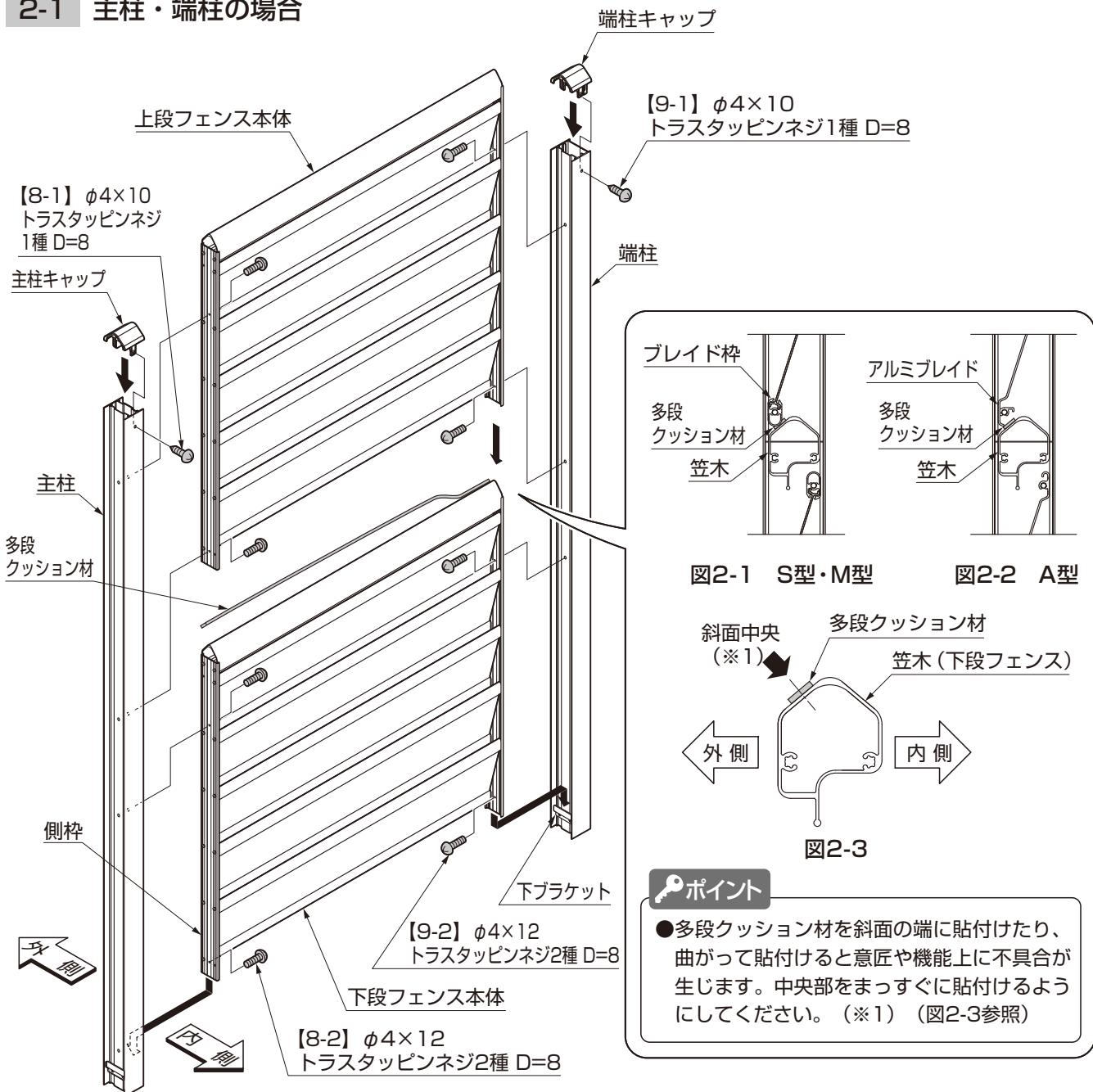


図2-1 S型・M型

図2-2 A型

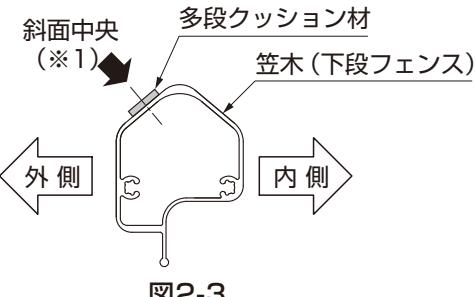


図2-3

ポイント

- 多段クッション材を斜面の端に貼付けたり、曲がって貼付けると意匠や機能上に不具合が生じます。中央部をまっすぐに貼付けるようしてください。（※1）（図2-3参照）

- ①下段フェンス本体を主柱に【8-2】、端柱に【9-2】で取付けてください。
- ②多段クッション材を笠木の斜面中央（※1）に貼付けてください。（図2-3参照）
- ③上段フェンス本体を主柱に【8-2】、端柱に【9-2】で取付けてください。
- ④主柱キャップを主柱に【8-1】、端柱キャップを端柱に【9-1】で取付けてください。

ポイント

- 目隠しや通気方向を変えたい場合には、フェンス本体の表裏を入れ換えることも可能ですが。（取付方法は本説明と同様です。）
- 主柱キャップ（端柱キャップ）を差込む際には斜めにならないように注意してください。斜めに差込むと破損したり削りカスが露出するおそれがあります。
- 端柱は左右共通のため、どちらか一方は端柱キャップの固定ネジが外側になります。

2-2 コーナー柱の場合

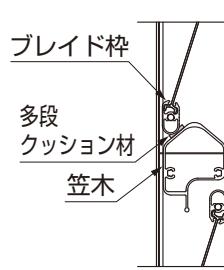
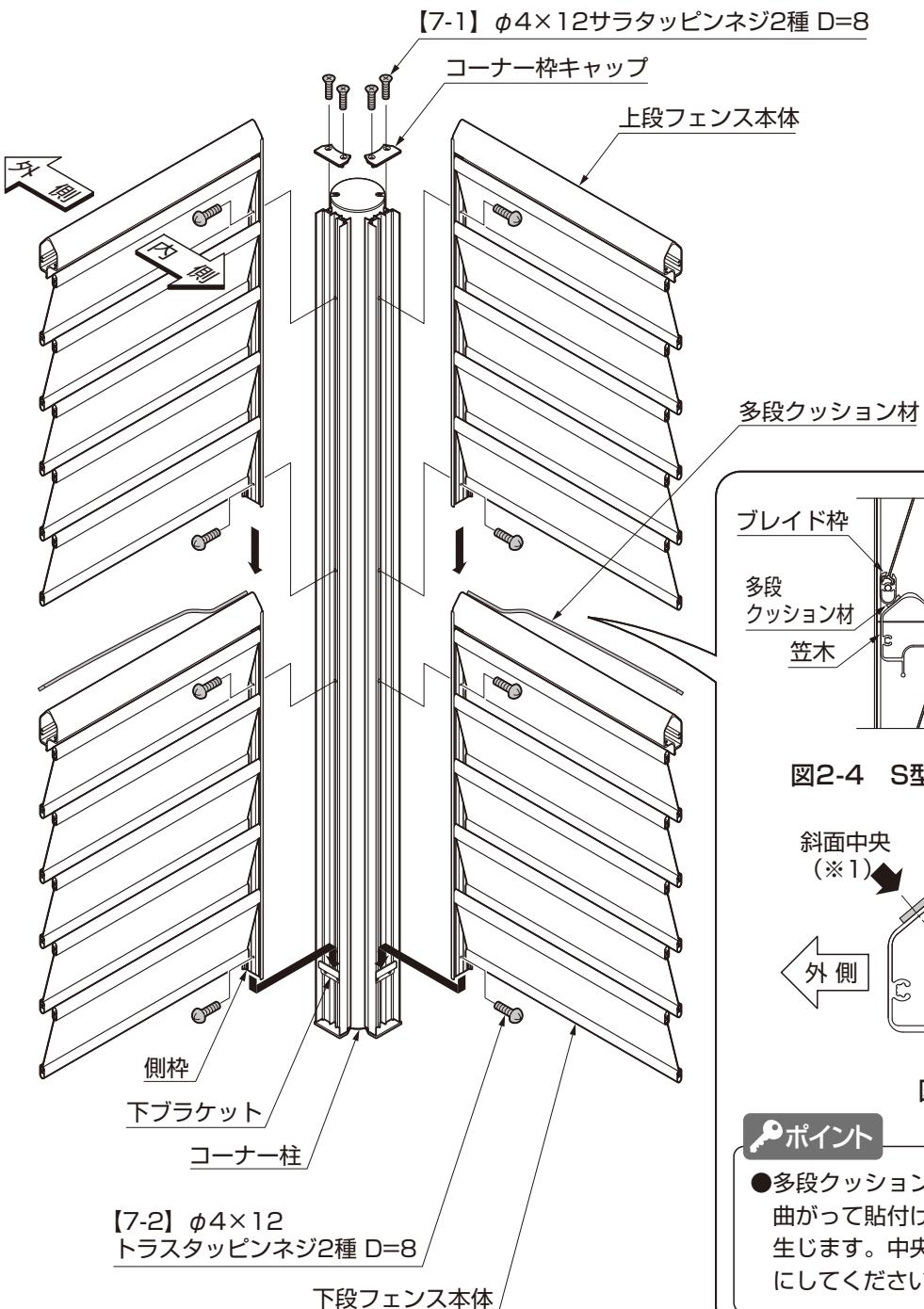


図2-4 S型・M型

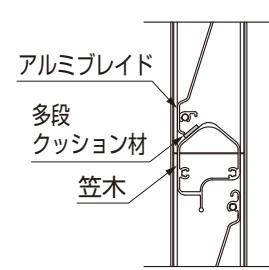


図2-5 A型

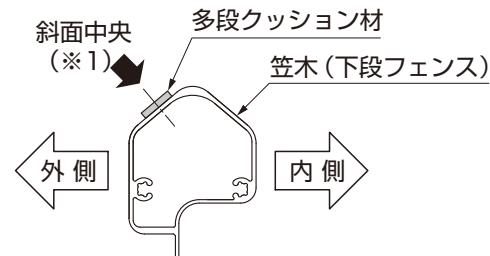


図2-6

ポイント

●多段クッション材を斜面の端に貼付けたり、曲がって貼付けると意匠や機能上に不具合が生じます。中央部をまっすぐに貼付けるようしてください。 (※1) (図2-6参照)

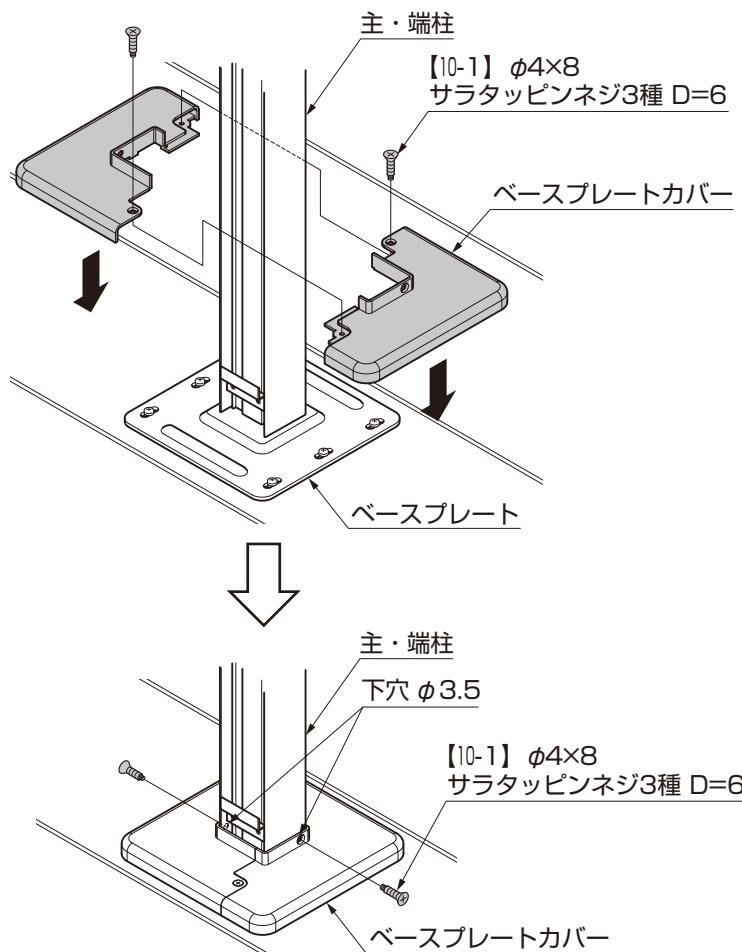
- ①下段フェンス本体をコーナー枠に【7-2】で取付けてください。
- ②多段クッション材を笠木の斜面中央に貼付けてください。 (図2-6参照)
- ③上段フェンス本体をコーナー枠に【7-2】で固定してください。
- ④コーナー枠キャップをコーナー枠に【7-1】で固定してください。

ポイント

- 目隠しや通気方向を変えたい場合には、フェンス本体の表裏を入れ換えることも可能です。 (取付方法は本説明と同様です。)

3. ベースプレートカバーの取付け

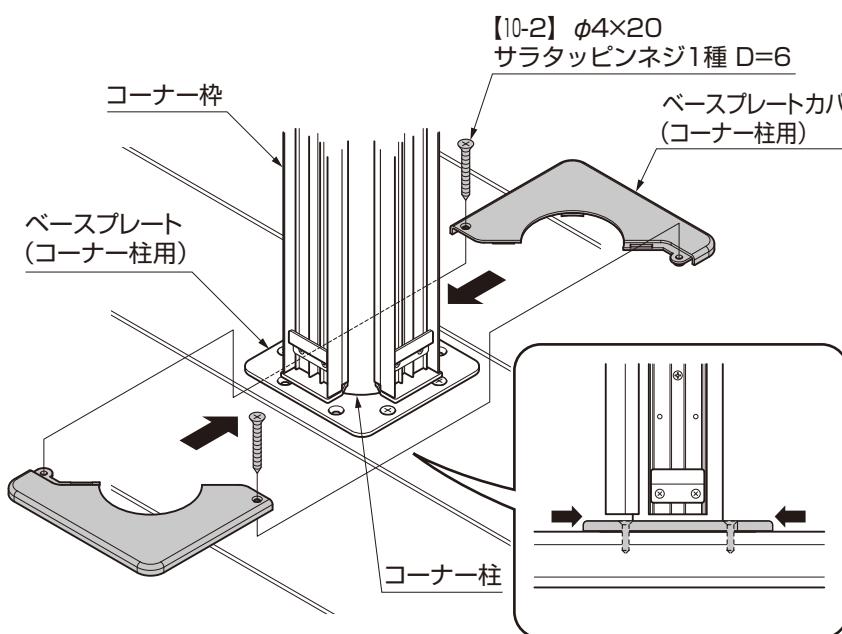
3-1 ベースプレートカバーの取付け（主・端柱）



- ①ベースプレートカバーを図の向きで組んでください。
- ②カバー同士を【10-1】で固定してください。

- ③柱にφ3.5の下穴をあけてください。
- ④ベースプレートカバーを柱に【10-1】で固定してください。

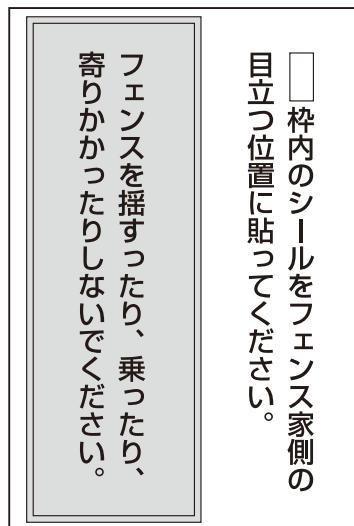
3-2 ベースプレートカバーの取付け（コーナー柱）



- ①ベースプレートカバーを図の向きで組んでください。
- ②カバー同士を【10-2】で固定してください。ネジは床板に直接固定してください。

7.施工後の仕上げ

1. 注意シールの貼付け



①必ず注意シールをフェンス本体または柱家側の目立つ位置に貼ってください。



●注意シールは、施主様に安全に使用していただくために必要です。